

# 学校図書館支援センター通信 NO.95 12月号

平成27年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 文部科学省委託研究 教育センター研究協力校 学校図書館活用公開授業研究会

学校図書館支援センター事業協力校の塩焼小学校で、11月20日（金）に、今年度のまとめの公開研究会が実施されました。研究主題「自ら考え、学び合える子の育成～言語活動を通して論理的思考力の育成を目指して～」のもと、国語科の研究仮説を「一人ひとりが学習活動に目的意識を持ち、様々な方法で伝え合う工夫をしていけば、自ら考え、学び合う力が育つだろう」として、1年生と5年生の授業が展開されました。

1年生は、教科書教材「はたらくじどうしゃ」の学習をもとに「みてみて！ぼくのわたしののりものずかん～のりものものをしらせよう～」を展開しました。地域の作業所や消防署の方々のご協力のもと、本物の働く自動車を校庭に集めて、見学したり乗せていただいたりしました。



これらの経験から、様々な自動車に興味を持ち、「図鑑作りをしたい！」という思いを強く持った子どもたちは、自ら進んで、調べ学習に取り組んでいました。

5年生は「世界遺産 白神山地からの提言」の学習を踏まえて、自分達にゆかりのある、校外学習先の「千葉県の大山千枚田の未来」について、多様な資料から自分なりに考えをまとめて意見文を書きました。

この後、4年生に向けてプレゼンを行い、来年度の校外学習に活かしてもらおうとします。

授業後に行われた分科会では、南新浜小学校教頭 渋谷景子先生、市川小学校教諭 川添陽子先生、東京学芸大学非常勤講師（教育センター学校図書館アドバイザー）小林路子先生から、ご指導を頂きました。大阪府豊中市教育委員会からも2名の参加があり、とても充実した研究会となりました。



### 学校図書館活用授業紹介 市川小学校11月6日 南行徳小学校 11月18日

市川小学校では、「進んで学び合える児童の育成～相手を意識した学びを活かす国語科の言語活動を通して～」を研究主題として、図書を活用した授業研究会が行われました。

3年生は、「斎藤隆介さんの物語を読んでおすすめの物語を2年生に紹介しよう」で、一人一人がお気に入りの1冊を選び、2年生に紹介するための準備を行いました。指示棒を持ったりペーパーサートを使ったりしながら、聞き手の表情を見て、わかりやすく丁寧な言葉でゆっくりと話していました。グループ内でお互いに、アドバイスをし合いながら、何を伝えたいのか、どうしたら上手く伝えられるのかについて考えました。2年生の前で生き生きと紹介する姿が目につかびました。

5年生は、「古典の魅力（秘密）をさぐるう！」で、「古典はなぜ今も読み継がれているのか」について考えました。「かぐや姫・平家物語・はととありのこ（イソップ物語）」を並行読書し、共通の読書経験を基本に、それぞれに古典作品を選んで調べ学習をしました。浦島太郎では「乙姫は、本当は、漁師に魚や貝をとって欲しくないから、太郎を竜宮城へ連れて行ったのではないか」という推論を提示する子も現れ、当時、京都で津波があった事実と結びつけて、「乙姫の怒り」だったのではないかと結論付けていました。子どもたちが図書を使って自分なりの考えを持ち、堂々と発信していく姿に、学校図書館を活用した授業の有効性と学びの広がりを感じた授業研究会でした。

南行徳小学校では、4年生国語科の授業で、「テーマを決めて、ミニ紙芝居ブックトークをしよう！」と題して読書発表会の授業が展開されました。子どもたちは、選んだ図書の引用したい部分



に付箋を貼りながら、紹介文を作成していました。引用については、はじめて扱うため、ワークシートを活用したり、担任と学校図書館員と一緒に個別指導をしたりしながら、丁寧に指導が行われていました。子どもたちは紹介文を書きながら、自分に必要な情報はどれか、伝えたいことが伝わる文章になっているかなど、グループ内で話し合いながら、ミニ紙芝居を完成させていきました。これらの学習を通して国語科のねらいである「読むこと」の目標に迫りながら、本に親しむことができる、学びの多い授業実践でした。

### 行徳第二保育園年長園児&福栄小学校1年生 学校図書館交流 11月17日

福栄小学校では、行徳第二保育園の園児と1年生の交流学習で、絵本をもとに、共同制作を行いました。「11ぴきのねこ」のお話しに登場する大きな魚を、新聞紙やカラーポリ袋を使って、体育館の床いっぱい



に描きました。子どもたちの豊かな想像力からカラフルな大魚が次々と生まれました。完成した作品は、体育館のギャラリーにあがってみんなで上から眺めました。真横からみる景色と違い、体育館の海を泳いでいるかのように見える魚に、子どもたちは興奮気味に歓声をあげて見入っていました。授業の仕上げは、お片付けです。指導してくださった植草学園大学教授 森高光広先生の合図で子どもたちは一斉に後片付けを始めました。使った材料は全てリサイクルできます。本を通して楽しく交流しながら学べるだけでなく、子どもにも地球環境にも配慮された学習活動でした。

### 図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

曾谷小の図書館は、0～8類を納めたもとからの図書室と、普通教室を使って新設した「9類の部屋」の2室から成っています。

9類の部屋」の後ろには、絵の得意なボランティアさんが制作した大きな壁画があります。絵本の中からとび出したキャラクター達の笑顔が、普通教室として使っていた頃のまま、黒板もロッカーもある部屋を、楽しい雰囲気に変えてくれました。

今はロッカーの上に5年生が国語の授業で作った「手作りオリジナル詩集」が展示されています。みんなの力を借りて、居心地のよい空間を作りたいと考えています。



市川市立曾谷小学校 学校図書館員 金子 紀子

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。  
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

